

# プラスチックストリッパ 取り扱い説明書

- ご使用の前に本取り扱い説明書をよくお読み下さい。
- 本取り扱い説明書は、製品のそばなどいつもお手元においてお使い下さい。

## 1. 安全にお使いいただくために

この取り扱い説明書には、人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本書の内容につきましては万全を期してはおりますが、お気付きの点がございましたら、連絡先までお申しつけ下さい。

取り扱い説明書を紛失した場合は、巻末の連絡先まで申し出てください。

## 2. 構成

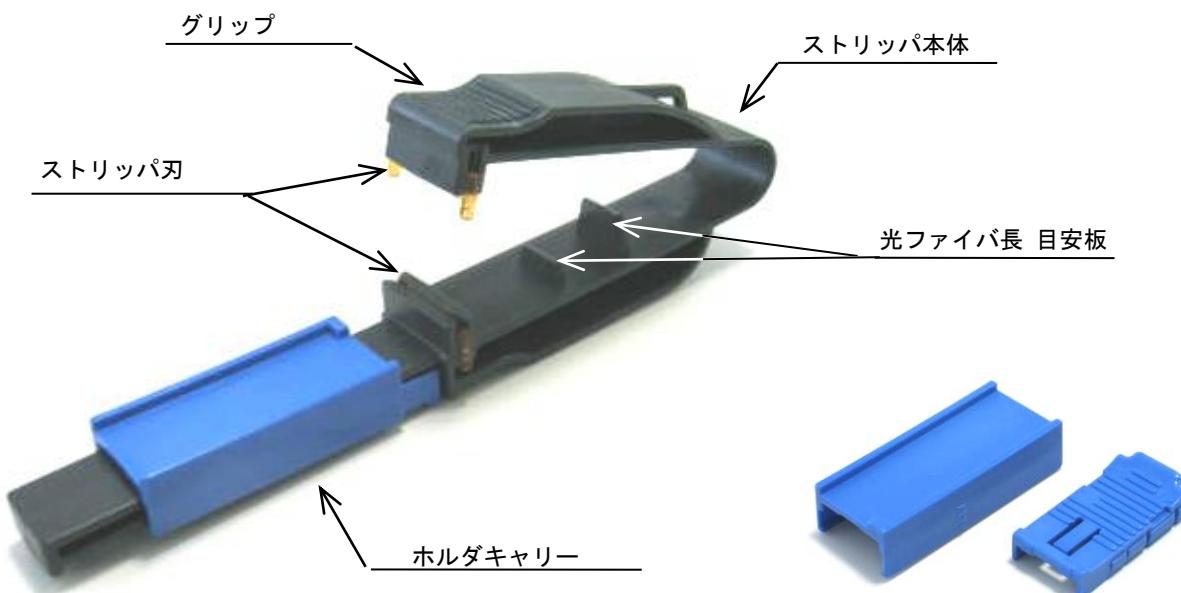
標準構成品

名称	製品コード	キットA 構成品	キットB 構成品
プラスチックストリッパ本体	—	1個	1個
プラスチックストリッパ刃	—	6組（12個）	2組（4個）
個装箱	—	1箱	1箱
取り扱い説明書（本書）	OM05007	1部	1部

## 3. 製品仕様

仕様項目	最小値	標準値	最大値
大きさ (W×D×H)	21mm (W) ×154mm (D) ×57mm (H)		
質量	30g		
対応心線	UV被覆石英クラッド単心光ファイバ 被覆径φ0.25mm	～	クラッド外径：125μm 被覆径φ0.50mm
環境			
動作温度	0°C		40°C
保存温度	-40°C		60°C
湿度			95%

## 4. 各部名称

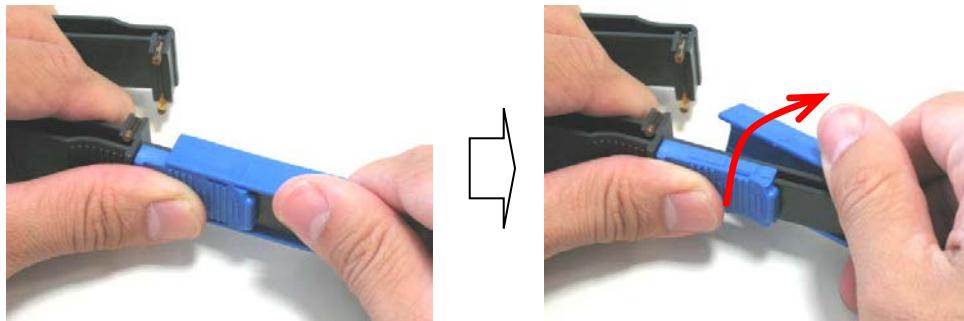


ホルダキャリー上部と下部

## 5. 使用方法・操作手順

### 5.1 ホルダキャリーの組合せ

- 1) ホルダキャリーを取り外します。ホルダキャリーアー下部を親指で押さえながら、もう片方の手でホルダキャリー上部の側面を捻るようにすると簡単に取り外す事ができます。

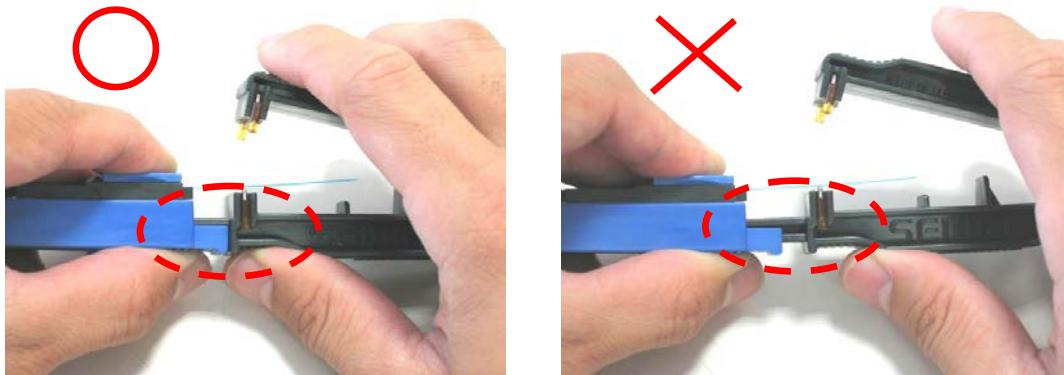


- 2) 次にストリッパ本体のレール部分を挟み込むように上下のホルダキャリーを組み合わせます。この時ホルダキャリーアー下部のロック部が本体側になるように気をつけてください。カチッと音がなるまでしっかりと組み合わせてください。下の表を参考に、ホルダキャリー上部にある「KEY▽」マークと、ホルダキャリーアー下部にある「MS」、「FS」、「FA」マークが合わさるようにします。

KEY▽との組合せ	ホルダキャリー外観	ホルダキャリー拡大
<b>MS</b> Mechanical Splice メカニカルスプライス用		
<b>FS</b> Fusion Splice 融着接続用		
<b>FA</b> Field Assembly 現場付けSC用		

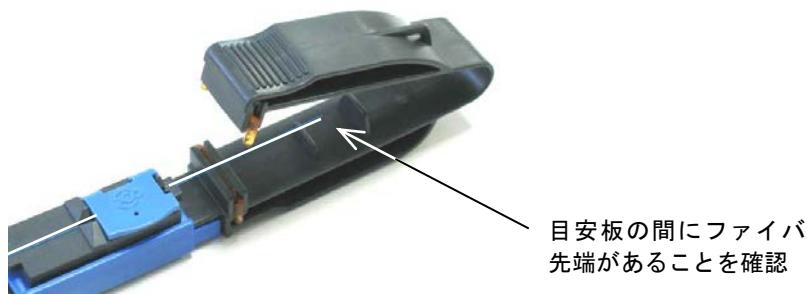
## 5.2 光ファイバの被覆除去

- 3) 光ファイバを光ファイバホルダにセットします。メカニカルスプライス接続時はホルダの端から約40mm、融着接続及び現場付けSC接続時にはホルダの端から約30mm出るようにしてください。
- 4) ホルダキャリーと本体が接触するまで近づけます。接触するとホルダキャリーアンダーパークがかかります。



(良い例) ホルダキャリーが本体に接触しロックしている (悪い例) ホルダキャリーが本体に接触していない

- 5) 写真の様に光ファイバの先端が2つの光ファイバ長目安板の間に収まっていることを確認してください。ファイバが長い場合や短い場合は再び1) の作業からやり直してください。



- 6) 本体のグリップをしっかりと押さえた状態で、ホルダキャリーをゆっくりと止まるまで引っ張ります。



- 7) グリップを開放して光ファイバホルダを取り出します。取り出した後の光ファイバに付着した被覆カスは、アルコールで湿らせたコットンティッシュ等を用いて拭き取ってください。

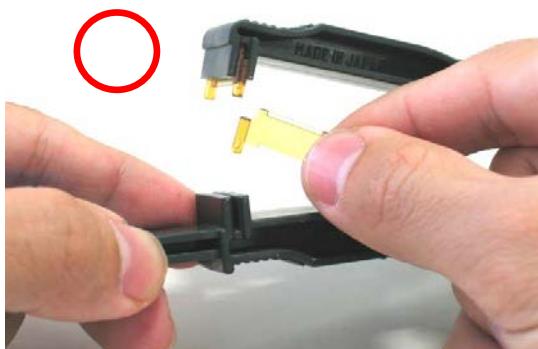
- 8) 刃に付着した、除去された被覆を取り除きます。

### 5.3 プラスチック刃の交換

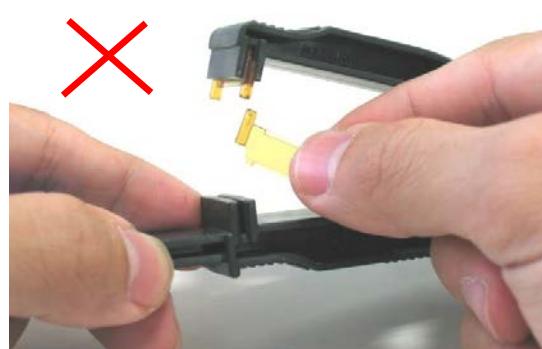
9) プラスチック刃が劣化して被覆除去ができなくなってきたら、刃の交換が必要です。プラスチック刃は上下に刃部があるので上下の刃を入れ替えたり、使用していない刃部が使えるように刃を裏返したりして、使用してください。

※ プラスチック刃は上下方向に向きがあります。斜めにカッティングされている方を上にしてください。

正しい向きで刃を噛み合わせないと、正常に被覆除去できない場合やファイバが切断してしまう恐れがあります。

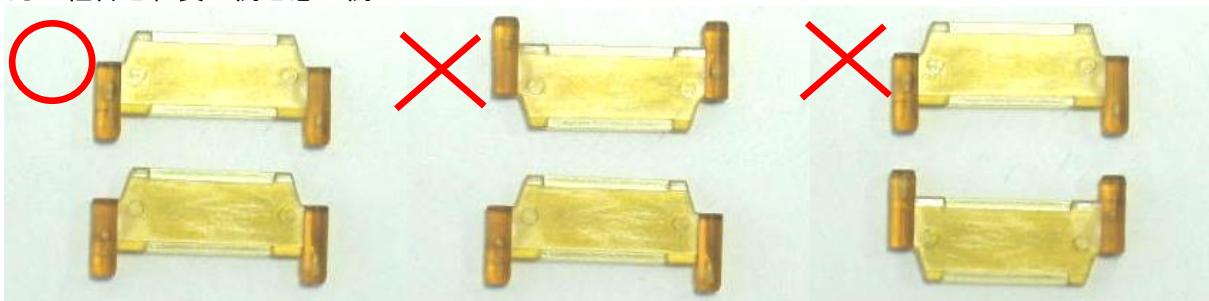


(良い例) 斜めにカッティングされている方が上



(悪い例) 斜めにカッティングされている方が下

#### 刃の組合せ、良い例と悪い例



#### ワンポイント

- 本体及び本体刃に細かいゴミが在る場合は、ブラシなどを使用して取り除いてから使用してください。
- 心線の種類によっては皮剥きしにくい場合があります。しっかりとグリップで刃を押し当ててから数秒待ってゆっくり引くと剥きやすくなります。
- 複数回連続で皮剥き作業を行ない、被覆ゴミが定量的に残るようになると、刃の寿命です。刃の裏表や上下を入れ替えるなどで刃の使用していない部分を使用してください。刃が使用できなくなったら、交換用プラスチック刃と交換してください。

#### お問合せ先

## 株式会社 正電成和

### 営業部

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-16-8

古河電工神田ビル8階

TEL 03-3518-5657